

支援事例 ケース4

相談者

札幌市在住40代 単身女性 無職 2010年11月から入居

【相談内容】

相談者から家賃支払いが困難なため、支払いを待ってもらえないかとの連絡が入りました。事情を尋ねたところ、原因不明の体調不良に悩まされ、就業先をたびたび欠勤するようになり、ついには、就業先から解雇されたとのことでした。アルバイトとしての勤務だったため、失業保険も受けられない状況、また頼れる親族や友人もいないとのこと。また、今後の生活をどうしたらよいものかと非常に不安を感じている様子でした。

【対応内容】

相談者の状況を詳しく確認したところ、生活保護受給が可能と判断しました。その旨を伝え、申請手続き方法などについて、詳しく説明しました。こちらのほうで区役所の福祉課に連絡をとり、窓口担当を確認したうえで、相談者に申請手続きに行くように案内しました。2週間後、生活保護受給が決定したと相談者から連絡が入りました。

【入居者様の声】

生活保護の受給申請を行うことについて、正直少し躊躇はありました。しかし、自分自身の体調からすぐに働き始めるのは難しいことと、そしてなにより今後の生活の不安が大きかったため、勇気を出して区役所に行きました。生活保護受給が決定したときは正直ホッとしました。

生活保護受給が決定するまでは、私自身が対象になるのか、半信半疑でした。私ひとりでは決して、生活保護受給手続きすることなど考えつかないことですので、今回、わざわざ役所に連絡をとってくださるなど親身に対応していただいて、本当に助かりました。

今は、体調の回復に努め、はやく元気に働けるようになりたいと思います。
どうもありがとうございました。